

平成 29 年度 第 3 回 学校協議会まとめ

大阪府立泉北高等支援学校

- 1) 実施日時 平成 30 年 1 月 19 日 (金) 午後 3 時 30 分～午後 5 時 00 分
- 2) 実施場所 本校応接室
- 3) 出席委員 田村 仁彦氏 (前堺市立上神谷支援学校 校長) 協議会会長
八田 忠敏氏 (元社会福祉法人コスモス理事長) 会長代理
松林 利典氏 (堺市障害者就業・生活支援センター センター長)
立山 清美氏 (大阪府立大学リハビリテーション学類講師)
吉原 雅子氏 (大阪府立泉北高等支援学校前 PTA 会長)
- 4) 内 容
 - ① 開会(教頭)

配布資料を確認
本日の協議会成立確認
 - ② 校長挨拶
 - ③ 会長挨拶

委員の紹介・近況 (関係機関の取り組みなど)
 - ④ 協議①「平成 29 年学校経営計画自己評価について」
 - ※ 校長より報告(25 分) 資料 平成 29 年度学校経営計画及び学校評価
 - 「コース制の更なる充実」
 - (2)実習の充実
今年度の就労率については、昨年度より向上する見込み。
T T A P の活用については途上である。
 - (3)個別の教育支援計画の連携
中学校との個別の支援計画の連携が改善し、0%から 50%になった。
 - 支援教育の充実
 - (2)部活動の活性化。自己肯定感の向上。
部活動の種目が増え、部活動に参加する生徒の幅が広がる。
集団になじめない生徒への指導が今後の課題。
 - (4)ICT の活用については、学校教育自己診断の値が向上した。
 - 安全で安心な学校づくり
各関係機関と連携した研修を実施した。
「平成 30 年度学校経営計画について」
 - ※ 校長より報告 (5 分) 資料 平成 30 年度学校経営計画及び学校評価

- 新学習指導要領に関する項目について盛り込んだ。今年度の内容を踏襲し作成している。

協議（10分）

- ・平成29年度学校経営計画の、TTAPの進捗についてどのような状況であるか。
- ・昨年度研修を実施したが、専門的な知識を要することもあり実施がなかなか進まなかったというのが実情であった。
- ・今後も専門性向上にむけて、特にアセスメントができる研修に取り組むことが必要である。引き続き委員の皆様のご助言をお願いしたい。

⑤ 協議②「学校教育自己診断」について

※ 校長より報告（5分） 資料 学校教育自己診断

協議（10分）

- ・教職員に関する項目について、先生方のコミュニケーションや情報共有についてが気になるところである。先生方は多忙なのだろうか。
- ・生徒の人数が急増したことも関係している。
- ・この結果はどの学校でも課題として上がっている。
- ・職員間の情報共有の時間を意識して作っていく必要があるのではないか。

⑥ その他

「生徒心得」について 資料 本校生徒心得

※ 校長より説明（3分）

協議（15分）

- ・指導をする上で、学校に登校しにくくなるようなことがあってはならない。学校に登校できることを第一に粘り強く指導している。
- ・通学に関するきまりの部分で、放課後デイサービスの利用の場合が想定されていないようにも受け止められるので、書きぶりを工夫された方がよい。
- ・自転車通学中の事故については、加害者になることもふまえて、十分注意する必要がある。自転車通学を認める際には、保険への加入が必要で保護者には確認している。

⑦ 意見書について

無しの旨を教頭から報告

⑧ 会長まとめ

学校評価については概ね良好とする。

⑨ 校長よりお礼

⑩ 事務連絡

次年度の委員依頼と日程については、後日連絡予定